

テレビ新広島文化大学講演

農業・環境シリーズ第22話（最終回） 2010年4月27日

「土の世界」

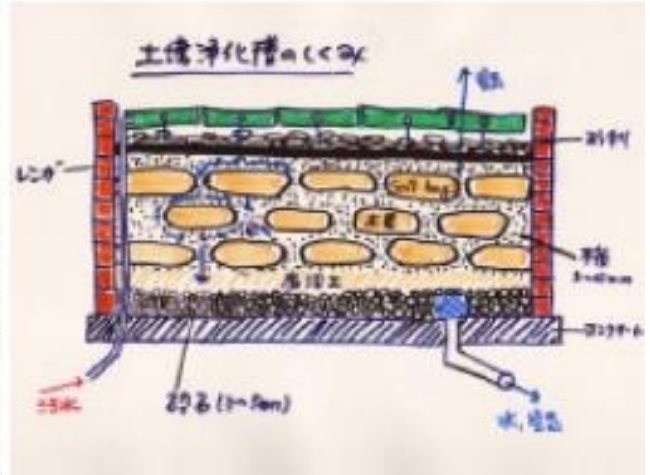
安藤忠男

土は私たちにとって大変身近な存在です。しかし、「土」は見る人の立場によって大きく変わります。「土」は農業生産者にとっては作物生産の大切な場ですが、地質学者にとっては地殻を覆う薄皮のような存在ですし、土木業者にとっては地上の構築物を支える基盤にすぎません。でも私たち農学や土壌学の研究者にとっては、「土はあたかも地球の皮膚のように地層を守り、物質循環の中心に位置し、多くの地球生命の存在に不可欠な生命維持装置」で、人間が守り育ててゆかなければならない存在なのです。

今回の講座では、地球の生命維持装置である土について、実例を挙げて次のような話をしました。

- 1) 土って何ですか？ : さまざまな土の見方を紹介しました。
- 2) 土の両親 : 土には“土壌母材と呼ばれる母親と“土壌化作用”と呼ばれる父親があります。父親が異なると同じ母親（土の材料）から性質が全く異なる土ができてきます。
- 3) いろいろな土 : 私が集めたブラジルやインドの土、日本の土などの実物を見てもらいました。
- 4) 土の色 : 赤、黄、茶、青、黒などさまざまですが、多くの土は鉄と腐植で色づけされています。
- 5) 土のすきま : 畑の土などでは容積の半分くらいが隙間で、ここに水と空気が入っています。
- 6) 生きている土 : 土は光が当たらないことを除くと非常に安定した環境で、多くの生き物がいます。
- 7) 水と空気を守る土 : 土は多くの機能を持っていますが、水と空気を浄化する役割はとても重要です。土の水浄化能を利用した、わが家の污水处理装置“土壌浄化槽”を中心に紹介しました。
- 8) 植物を育む土 : 植物は、土があれば根の届かない所にある養分も吸収することができます。
- 9) 失われゆく土 : 人間の活動によって世界中の土の変質が始まり、多くの土が失われつつあります。
- 10) 地球を守る土 : 土は地球上の多くの生き物の食物を生み出し、生活環境を守っています。

もし、土が死ぬようなことがあれば、地球は「風の谷のナウシカ」が住む瘴気（しょうき）に満ちた世界に変わることでしょう。土が私たちのあまりにも身近な存在であるために、私たちは土の恩恵を忘れてしまっているのではないのでしょうか？地球を守る土を、私たちは守らねばなりません。



写真の手前の花壇がわが家の土壌浄化槽（右図がその構造）で、奥は処理水をためて魚を飼っている貯水槽です。わが家では過去22年間、合併処理浄化槽で処理した汚水をこの土壌浄化槽で処理・貯水後、地下へ浸透させ、地下水を井戸で利用してきました。今まで敷地からは一滴の廃水も出していません。